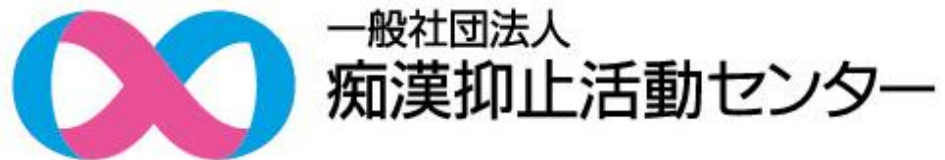

年次報告 2024



目次

- 活動に対する思い
- ご挨拶
- 私たちが目指す社会
- 事業報告

第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト

啓発・啓蒙活動

痴漢抑止バッジ配布

- 会計報告

100年続く電車内痴漢犯罪から子どもを守るのは、
私たち、大人の責任です

ご挨拶

痴漢抑止活動センターは、「被害者を孤立させない社会」を目指しています。

2015年の活動開始以来、痴漢は被害者だけの問題ではなく、周囲の大人や社会全体で防ぐべき犯罪であると訴えてきました。

2023年12月25日、東京都が発表した「痴漢に関する大規模調査」の報告書では、電車内での痴漢被害が最も多く、被害者の4割以上が「我慢した、何もできなかった」と回答しました。一方で、第三者が介入すると痴漢行為の9割が止まるという結果も出ています。

報告書には、「見守り」や「声かけ」など、誰にでもできる行動が加害抑止につながると強調されています。

当センターが無償で配布している「痴漢抑止バッジ」は単に被害者の自衛を促すだけのものではなく、「子どもを守ろうとする意思を可視化する象徴」です。

高校生が考案したこのバッジの理念を大切にしながら、警察や鉄道会社などと協働し、デザインコンテストや啓発活動を通じて「痴漢は社会全体で解決すべき課題」という認識を広げていきたいと考えています。

第10回目を迎えた「痴漢抑止バッジデザインコンテスト」には、全国29都道府県91校から628作品の応募がありました。審査には、中高校生8校299名を中心に、大学生、一般社会人などを含め、計963名が参加しました。

これまでのコンテストに16,636人が参加し、一緒に痴漢問題の解決を考えてきたことになります。

引き続き、この活動を広げていくように努めます。今後、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生



事業報告

第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 報告書

あなたの投票で決まる
最終選考は一般web投票！ 受賞5作品を製品化！

11.6^{wed} 2024
11.17^{sun}

祝 第10回

学生のデザインで
社会の課題を解決！

痴漢抑止バッジデザインコンテスト

誰でも参加できるWEB投票受付中！



一般社団法人
痴漢抑止活動センター

【開催主旨】

痴漢抑止バッジは、高校入学直後から痴漢に会い続けていた都内在住の女子高校生が2015年に考案しました。彼女は、バッジをつけて登下校するようになって以来、電車内で痴漢に遭わなくなりました。私たちは、彼女の経験をSNSで知り、彼女の知恵と勇気と行動力に感心いたしました。

電車内の痴漢犯罪に困っているのは彼女だけではないと思い、このアイデアを広げようと、痴漢抑止活動センターを立ち上げました。以来、毎年夏に痴漢抑止バッジデザインコンテストを開催しています。

コンテストの対象は学生です。一番被害に遭っている子どもたちと同世代の学生に、被害者と同じ感性でデザインしてもらうのを望んでいるからです。

それと同時に、ジェンダー問題に意識が高いデザイナーを創出することも期待しています。

社会のあらゆるもの、CM、ポスター、パッケージデザイン、企画など全てのものにデザイナーが関わっています。デザイナーの意識が変われば、社会に流れる情報の質が変わります。

痴漢抑止バッジデザインコンテストは今年で10回目を迎えました。コンテストの受賞者が何人もデザイナーとして活躍しています。

これまでにデザインの応募、審査に関わってくださった方が1万6636人います。学生を含む多くの人が、電車内痴漢犯罪について真剣に考えてきました。

これまで日常的な些細な出来事とされてきた痴漢犯罪を真剣に考える人が増えていけば、世の中は必ず変わっていきます。

私たちは、皆さんと一緒に毅然とした態度を示し、「性犯罪を許さない社会」を目指します。

一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

コンテスト概要

募集期間:	2024年8月1日(木)～9月10日(火)
結果発表:	2024年12月15日(日)
授賞式:	各校にて、表彰状授与式を実施
審査員長:	神崎 遥様(デザイナー、第2回痴漢抑止バッジデザインコンテスト最優秀賞)
アドバイザー:	斉藤 章佳様(大船榎本クリニック精神保健福祉部長、精神保健福祉士、社会福祉士)
主催:	一般社団法人痴漢抑止活動センター
後援:	警察庁、文部科学省、国土交通省、大阪府教育委員会、関西SDGsプラットフォーム
協賛:	西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、アーバン建物株式会社、有限会社ササキセキュリティー、日本缶バッジ工業
協力:	株式会社近鉄百貨店、ラッキーベル株式会社

【講評】

コンテストに参加してくださった皆さま、ありがとうございました。

被害を受けた方が声を上げると責められ、彼女／彼たちを守ると嘲笑され、理不尽な構造というのは依然根強く存在していますが、それでも共に闘い続ける人々の思いが届きつつあるのか、最優秀賞には連帯して声を上げているデザインが選ばれました。

もちろん、デザインが優れているため選ばれたと思うのですが、徐々に投票してくださる方の気持ちも前向きに変化しつつあるのかなと感じました。

今年の審査員長賞は、肉球でSTOP!!を選ばせていただきました。猫をモチーフにしたバッジは既に製品化されていますが、肉球で表現されたものは初めてで、何より、可愛らしく女子学生が付けやすそうな点を高く評価いたしました。同じモチーフであっても、切り口を変えれば新しいものが生まれることもありますので、諦めずに見方を変えて考えてみるのも良いかもしれません。



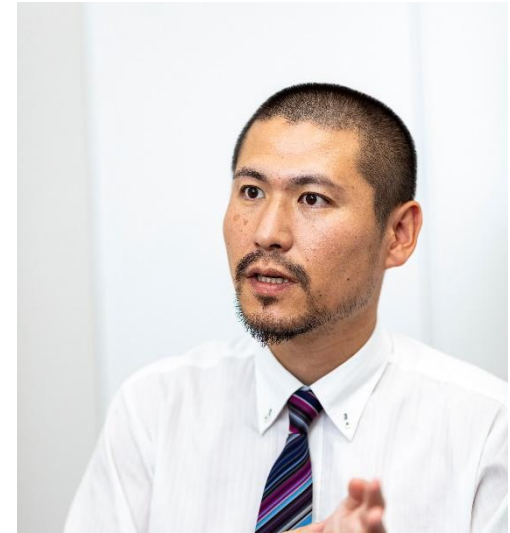
アドバイザー 齊藤章佳 西川口榎本クリニック副院長、精神保健福祉士、社会福祉士

審査の過程を見ている時から、個人的に4人が手をあげている「宣誓」がいいなと思っていました。理由としては、意思を主張しているのが伝わってくるデザインだということ。昨年、東京都で実施された「痴漢被害実態把握調査」でも、痴漢の現場で第三者が介入した場合結果9割が痴漢行為を止めるという結果がでています。痴漢犯罪は被害者と加害者だけの問題ではなく、痴漢しているとか怪しい行動に気づいた方がどういうアクションを取るのが非常に重要です。デザインで第三者介入を伝えるのは難しいと思いますが、その点をクリアしていると感じました。

このコンテストには、例年3～4割の男子学生が参加しています。痴漢犯罪の解決には、男性自身が当事者性を持つことが大切です。もちろん、男性が被害者になることもあります。その場合でも加害者が男性のケースが多いです。女性に痴漢行為をするのは、主に男性です。

痴漢犯罪は男性の問題であり、コンテストを通じて、若い男性の当事者としての認識を変えていけると感じています。そして、10年間で、デザインの応募と審査に16,600人以上が関わったのは、非常に大きな成果です。

10年前は、まだ痴漢が性暴力だという認識すらほとんどありませんでした。「痴漢抑止バッチデザインコンテスト」の継続は、社会の認識を変え、男性の当事者性を変えていく大きなアクションだと私は考えています。



著書に
男が痴漢になる理由
「小児性愛という病」それは愛ではない
万引き依存症

コンテストの告知・広報

A) WEBサイト ●デザインコンテスト公式サイト

URL : <http://scb.jpn.org/contest/2024/>

●公募ガイドONLINE

<https://koubo.jp/contest/239564>

B) チラシ(A4 両面カラー) 31, 500枚作成

全国624校 : 各校に50部チラシ送付

C) ポスター(B2) 400枚作成

阪急電鉄: ポスター100枚

JR西日本: ポスター100枚

ラッキーベル株式会社: 100枚

応募期間 2024 8.1 - 9.10

受賞 5 作品を製品化!

賞

- 最優秀賞 (1点) 5万円
- 優秀賞 (2点) 2万円
- 特別賞 (2点) 1万円

第9回受賞作品

- 最優秀賞: 鈴木 夢夏さん (大阪府立天王寺高等学校)
- 優秀賞: ぼんぽん (大阪府立天王寺高等学校)
- 優秀賞: ぼんぽん (大阪府立天王寺高等学校)
- 優秀賞: ぼんぽん (大阪府立天王寺高等学校)
- 優秀賞: ぼんぽん (大阪府立天王寺高等学校)

提出物

- ・タイトル (16文字以内)
- ・デザインコンセプト
- ・作品
- ・痴漢抑止活動へのメッセージ

応募資格

デザイナーを志す学生

あらゆる製品にデザイナーが関わっている。デザイナーのジェンダー意識が実れば、社会に溢れる情報の質が変わる。だから学生デザイナーを育成します! 本コンテストの最優秀賞者には、翌年のコンテストのチラシ制作をお仕事として依頼しています。

応募方法

公式ホームページ内の応募フォームより作品を投稿

第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 検索

お問い合わせ先

痴漢抑止バッジデザインコンテスト 事務局
〒556-8508 大阪府東淀川区5-13-13-303
mail:contest@scb.jp

協賛

大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校

協力

大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校
大阪府立天王寺高等学校

主催

一般社団法人痴漢抑止活動センター

チラシ・ポスター制作: 鈴木 夢夏さん(第9回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 最優秀賞受賞)

第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト審査結果

学生対象のデザインコンテスト

全国29都道府県91校から628作品の応募

募集期間: 2024年8月1日～9月10日

最優秀賞(賞金5万円)

関木(専門学校文化デザイナー学院)

■デザインコンセプト

「痴漢は犯罪です。私たちは泣き寝入りしません。」というコピーから、自分の誠意を多数の人々に対して言明する”宣誓”を連想し、コンセプトとしました。誰もが「STOP!!」と言える強い気持ちを持てるように多種多様な人達が手を挙げて宣言するデザインにしました。また、宣誓という言葉は力強く勇ましいですが、学生や社会人、多くの方が身につける上で堅い雰囲気になりすぎないように、シンプルながらもポップに仕上げました。



優秀賞(賞金2万円): 湯浅 葵乃 (香川県立高松工芸高等学校) ●○○○

優秀賞(賞金2万円): せな (金沢情報ITクリエイター専門学校) ○●○○

審査員長賞(賞金1万円): yuiko (船橋情報ビジネス専門学校) ○○●○

たか子賞(賞金1万円): Ann (熊本デザイン専門学校) ○○○●



一次審査 大学生の投票をもとに60作品選出

応募総数628作品から各地の大学生14名に投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が60作品を選出いたしました。

【参加校】はくほう会医療専門学校明石校,東京未来大学,明治大学,国際基督教大学,千葉大学,筑波大学,神戸女学院大学



二次審査 中学生・高校生のアンケートで12作品選出



松蔭中学校・高等学校



大阪府立咲くやこの花中学校

中高校生 8 校299名に一次審査結果の60作品の中から、好きな作品に投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が12作品を選出いたしました。

〈審査参加校〉

大阪市立南港南中学校,浦和麗明高等学校,芦屋学園中学・高等学校,松蔭女子学院 松蔭中学校・高等学校,大阪府立咲くやこの花中学校,大阪信愛学院中学校,豊島岡女子学園中学高等学校,早稲田大学本庄高等学院

第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト 入賞12作品



「痴漢は×(バツ)！」
エミ
(サンデザイン専門学校)



「犯罪は許さない」
湯浅 葵乃
(香川県立高松工芸高等学校)



「NO！痴漢！」
せな
(金沢情報ITクリエイター専門学校)



「見てマス。」
Ann
(熊本デザイン専門学校)



「無性別、無感情、無視しない」
カツ
(桑沢デザイン研究所)



「監視中」
ぬなとの
(ルネサンス デザイン・美容専門学校) (専門学校文化デザイナー学院)



「宣誓」
閨木



「肉球でSTOP!!」
Yuiko
(船橋情報ビジネス専門学校)



「いつでも見てる」
鈴木夢夏さん
(太田情報商科専門学校)



「凝視する目」
織戸 大地
(京都黎明学院)



「見てるよ」
ぬこ茶
(岡山情報ビジネス学院)



「見ざる 触らず 映さず」
鈴木那捺
(新潟デザイン専門学校)

一般投票 近鉄百貨店 あべのハルカス 5階 縁活ウォールギャラリー



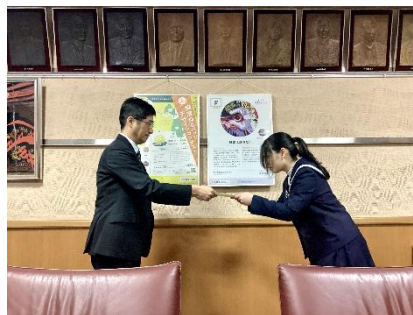
開催日: 2024年11月6日～26日
会場: 近鉄百貨店 あべのハルカス
縁活ウォールギャラリー

投票数 あべのハルカス投票: 10票 WEB投票: 721票

子どもたちが痴漢被害にあっている現実を知っていただくために、多くの方が買い物を楽しむ百貨店内にあるウォールギャラリーとWEBで、最終審査を実施いたしました(投票は、17日まで)。会場にポストを設置し、バッジデザインを選んで投票していただきました。



「第10回痴漢抑止バッチデザインコンテスト」 受賞式



授賞式は、入賞者が在籍する各校にご協力いただき、先生から賞状・副賞を授与していただきました。

啓発・啓蒙活動

2024年1月13日 痴漢抑止バッジ無料配布(受験生見守り行動)



痴漢許さない



「#共通テスト痴漢撲滅」「受験生がんばれ」などと書かれたプラカードを掲げる女性たち＝13日朝、神戸市東灘区

神戸で受験生見守り行動

大学入学共通テスト
初日の13日朝、受験生
を痴漢から守ろうと

「神戸市東灘区ジェン
ダーしゃべり場」の人
たちが、同区のJR根

津本山駅の南北入り口
とホームで受験生見守
りスタンディングを行
いました。

日本共産党の松本則
子神戸市議、きだ結元
県議を含む女性11人が
参加。一般社団法人・
痴漢抑止活動センター
代表理事の松永弥生さ
んも加わりました。

「#共通テスト痴漢
撲滅」「受験生がんば
れ」と書かれたプラカ
ードを掲げて受験生を
激励し、乗降客にもア
ピール。「私たちは泣
き寝入りしません」と
書かれた、痴漢抑止活
動センター作成の缶バ
ッジも配布しました。
ある女子受験生は

「ありがとうざいま
す」と話していまし
た。「何しているのだ
すか」と聞いてきた年
配の女性に受験生を狙
う痴漢の存在を話す
と、「そんな人いるん
ですか。許せない」と
立腹。年配の男性は
「共通テストの痴漢で
すか。テレビで見まし
た」と語りました。

参加した同区の女性
(44)は「私も高校生
のときに痴漢に遭った
けど、おとなは大きな
問題だと思ってくれ
なかった。だから若い
人たちに、『あなた側
の人間がいるよ』と伝
えたい」と話しまし
た。

2024.01.14 新聞赤旗

2024年メディア掲載リスト

2024.01.04	「絶好の痴漢日和」...受験生を泣き寝入りさせない！ 本人と周囲の大人ができる対策、活動続ける女性に聞いた	まいどなニュース
2024.01.12	なぜ受験生が我慢せねば...痴漢撲滅に大事なことは？ 内閣府も注意喚起「共通テストは追試験できる」	まいどなニュース
2024.01.12	あすから共通テスト 痴漢あおる投稿相次ぐ 受験生守る行動を	NHK
2024.01.14	痴漢許さない 神戸で受験生見守り行動	しんぶん赤旗
2024.01.24	あの子、痴漢に遭っているのでは？←自信がなくても助けられます「これ良いなあ！」「真似させてもらいます」	まいどなニュース
2024.05.03	「痴漢です」なぜ言いづらい？ 助けなく聴取で疲弊、被害女性の複雑な心境	神奈川新聞
2024.07.08	痴漢撲滅へ意識啓発 公明党市議団ら 街頭キャンペーン実施	公明党新聞
2024.08.10	痴漢抑止目的でデザイン募集 缶バッジ、今年で10回目	共同通信
2024.08.24	男性向け性玩具で「2年間痴漢しない努力した」被害対策団体に「使用済み」送り付け...代表女性「性犯罪に問えないのおかしい」	弁護士ドットコム
2024.10.16	〈痴漢抑止活動センターが怒りの告発〉「〇〇したことがありますか？」とのセクハラ電話に“ありえない郵送物”も...	集英社WEB
2024.10.28	教員から生徒への性暴力描く漫画「言えないことをしたのは誰？」	しんぶん赤旗
2024.11.28	「ワンタッチ痴漢」と言わないで...性犯罪を軽んじる言葉に警鐘 発信源と報道された警視庁に聞いた	まいどなニュース

会計報告

損益計算書

2024年度	勘定科目	借方金額	貸方金額	残高
[売上高]	パッチ販売	0	127,448	127,448
	講演会売上	0	53,000	53,000
	協賛金収入	0	3,564,039	3,564,039
	その他売上高	0	77,932	77,932
	[売上高]	0	3,822,419	3,822,419
[売上原価]	期首棚卸高	112,986	0	112,986
	商品仕入高	128,667	0	128,667
	外注費	132,000	0	132,000
	期末棚卸高	822,068	967,106	145,038
	[売上原価]	1,195,721	967,106	228,615
[売上総利益]	[売上総利益]	0	3,593,804	3,593,804
[販売管理費]	旅費交通費	29,270	0	29,270
	広告宣伝費	71,729	8,900	62,829
	発送配達費	115,374	0	115,374
	コンテスト関連費	277,282	0	277,282
	役員報酬	1,296,000	0	1,296,000
	法定福利費	549,296	276,532	272,764
	教育訓練費	5,170	0	5,170
	地代家賃	792,000	0	792,000
	通信費	232,691	17,800	214,891
	備品・消耗品費	54,738	17,977	36,761
	管理諸費	410,300	0	410,300
	会議費	17,101	0	17,101
	雑費	104,327	0	104,327
	[販売管理費]	3,955,278	321,209	3,634,069
	[営業損益]	0	-40,265	-40,265
[営業外収益]	受取利息	0	597	597
	雑収入	0	4,989	4,989
	[営業外収益]	0	5,586	5,586
[営業外費用]	支払利息	50,400	0	50,400
	[営業外費用]	50,400	0	50,400
	[営業外損益]		-44,814	-44,814
	[経常損益]	0	-85,079	-85,079
	[税引前当期純利益]	0	-85,079	-85,079
	[法人税等]	70,089	0	70,089
[当期純利益]		0	-155,168	-155,168

当センターの活動は、個人・法人のマンスリーサポーターの皆さまからの継続的なご支援と、コンテストにご協賛くださる企業のご厚意によって成り立っています。

2024年は、代表理事の松永がバセドウ病を患い、痴漢抑止活動への取り組みを一時的にセーブせざるを得ませんでした。現場での対応や外部発信の機会を減らす中で、改めて組織としての持続性と体制の在り方を考える一年となりました。2015年の活動開始から10年、ボランティアの情熱に支えられて歩んできましたが、現体制の脆弱さも浮き彫りになりました。

痴漢という社会問題解決には、長い時間と、社会全体の意識の変化が必要です。私たちは、これまで支えてくださった皆さまと共に、その歩みを止めずに続けていきます。今後は、マンスリーサポーター制度の拡充や企業協賛の強化を通じて、安定した運営基盤を築くことを目指します。また、事務局スタッフの雇用・育成にも力を入れ、若い世代が安心して活動に参加できる環境づくりを進めてまいります。

痴漢抑止活動センターは、これからも誠実に、着実に歩みを続けてまいります。皆さまの変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

プロジェクト 連絡先

【団体名】一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

【住 所】〒536-0008 大阪市城東区関目5-13-15-305

【電 話】06-7898-7808

【e-mail】 info_scb@scbaction.org

【 HP 】 <http://scbaction.org/>

【facebook】<https://www.facebook.com/scbaction>

【Twitter】<https://twitter.com/scbaction>

